身体全体を総合的に考え 口内環境から患者の心身を支える

2019年4月に開院した『柏グレイス歯科医院』。悪い部分だけに着目するのではなく、痛みなどのトラブルの原因を明確にし、身体を総合的に考える「総合歯科診療」に取り組んでいる。本日はタレントのつまみ枝豆氏が訪問。小塩院長にインタビューを行った。

――まず始めに、小塩院長が医療の道 を目指されたきっかけからお聞かせ下 さい。

私の親戚が柔道整復師をしている姿を見て、人の不調を解消して喜んでもらえるのは良い仕事だなと思い、歯科医師を目指しました。歯学部を卒業してからは、神奈川の歯科医院で5年間師匠のもとで修業後、3年間フリーとして各地の医院で勤務し、2019年4月1日にこちらを開院したという流れです。師匠からは、今の臨床の土台となることを学ばせていただきました。

その師匠は、どのような方なのでしょう。

知識、技術は勿論、視野の広さと患者さんへの強い思いを持っている先生です。勤務時代、肩こりや耳鳴りが酷いものの原因が分からないという患者さんが来院されました。普通なら歯ところが師匠は原因を突きはなったんです。それをではないところには、新人から50~60代のベテランまで、全国から沢山の先生が勉強に訪れるんです。

――こちらでは、その師匠の教えを受け継いでいらっしゃるのですね。



はい。中には、忙しさもあってか悪 いところだけを治す「とりあえずの治 療」を行う医院もあると聞きます。し かし、当院では痛みや悩みの原因を明 確にして根本治療をすることを目指し、 身体を総合的に考える「総合歯科診療」 を行うことに全力を注いでいます。そ の中で、患者さんの不調を解消し、笑 顔になっていただきたい。そして生涯 にわたってご自身の歯で快適な食生活 を維持できるよう最良の医療を提供す ることが基本理念です。たとえば、か み合わせが悪い場合は顎に痛みが出た り、口が開きにくい状態になったりし、 それが原因で肩こりや頭痛や耳鳴り (不定愁訴) を引き起こすことがあるん です。口腔内の環境が全身に影響を及 ぼすことを考慮した上で、治療を行い ます。

一なるほど。かつて師匠が患者さんの不調を治したのも、そうした視点で歯科治療をされていたからこそなのですね。開院したばかりということで、最後になりますが今後に向けての意気込みをお聞かせ下さい。

(2019年4月取材)



柏グレイス歯科医院

千葉県柏市増尾 4-1-37 URL: https://masuo-dental.jp

